

豊田PCB廃棄物処理事業だより(No.16)

情報公開ルームに情報公開用機材等を設置いたしました。

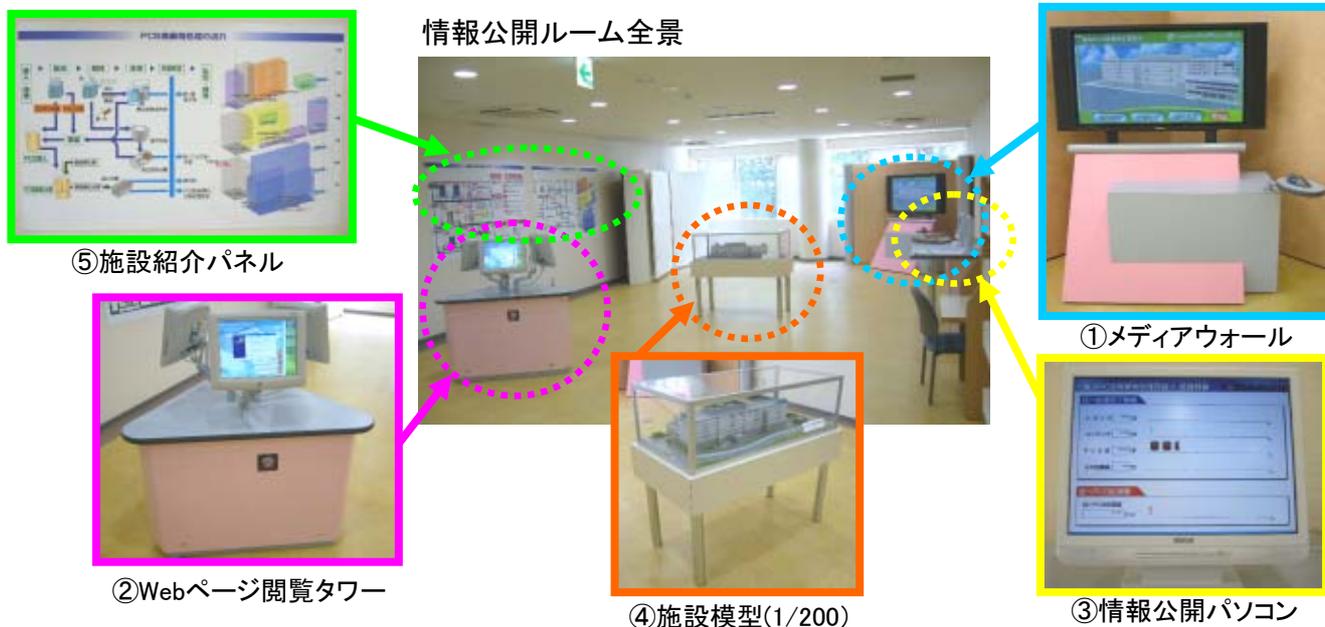
7月25日(月)情報公開ルームに、①施設概要や処理設備をコンピューターグラフィックで解説するメディアウォール②PCBの解説や環境クイズ、PCBゲーム、PCB関連のホームページが見られるWebページ閲覧タワー、③PCBの受入及び処理実績、環境モニタリングの測定値等が一目でわかる情報公開パソコン、④豊田施設の模型(1/200)、⑤施設紹介パネル等を設置しました。

また、見学者通路には音声や映像でそれぞれの設備を紹介する案内解説パネルを設置しました。今後は、設置した機器のソフトの導入と拡充を進めるとともに、身近な環境問題やPCBについて楽しく学べる大きなエコブック等を設置していきます。

さらに、プレゼンテーションルームで見ていただく豊田PCB廃棄物処理施設紹介DVDを2種類、一般向けの「次世代への取組」及び子ども向けの「すすむとまなみとデジ丸のPCB探訪」を日本語・英語両バージョンにて作成しております。

豊田施設を見学される皆様に、施設の安全確実な処理、多重の安全設備と安全対策等について、ご理解いただくとともに、子どもから大人まで多くの方が、楽しくわかりやすくPCBの歴史や処理事業の経緯、環境問題等について学習していただけるよう改善、拡充を図ってまいります。

9月下旬から多くの市民の皆様に、ご見学いただけるよう準備していきますので、よろしくお願いいたします。



試運転の状況について

6月23日よりPCB使用のコンデンサやトランスを用いて予備性能試験を行っています。この試験によりPCBを安全確実に処理できることの検証を行っています。

コンデンサやトランスからは、まずPCB油を抜き出します。次に内部を予備洗浄して解体し、PCB油が染み込む紙や木(含浸物)と染み込まない金属や碍子(非含浸物)に分別します。分別された含浸物は攪拌洗浄して真空加熱分離し、非含浸物は真空超音波洗浄を行ってPCBを取り除きます。

こうして取り出したPCBを豊田PCB廃棄物処理施設では①抜き出したコンデンサ油、②抜き出したトランス油、③洗浄した油から蒸留により洗浄溶剤を取り除いたPCB、④ドラム缶で搬入されるPCB混入油の4種類に分けて分解無害化処理をします。【次頁へつづく】



処理が完全にできているかどうかは、1バッチ毎に分析して判断することになります。日本の判定基準は世界一厳しいものですから、豊田施設では極微量まで測定可能な最新の高グレード分析機器を備えています。

なお、試運転では施設内で分析した結果を検証するため、外部の専門会社にも分析を委託しています。

環境ISO14001取得に向けて始動

7月20日(水)に、JESCO豊田事業所職員と運転管理委託会社(クボタ神鋼運転JV)職員と合同で、ISO14001認証取得のための第1回目協議(キックオフ)を行いました。

18年度の認証取得に向けて、環境体制の確立、環境教育・啓発の実施、環境方針・目的等を決定し推進していきます。



工事の状況

施設外周道路の舗装を完了しました。8月上旬の外構工事完了に向け、植栽・フェンス・サイン工事を行っています。処理棟内部では、機器の調整・性能確認を実施しており、8月末の竣工に向け試運転を実施しています。また、施設北側市道(衣ヶ原細谷線)の舗装の改修も完了しました。



舗装完了(施設西側)



舗装完了(施設東側)

今月の工事予定

8月 建築 : 外構工事(フェンス・植栽・サイン・車両管制工事、仕上げ工事)
試運転 : 引渡性能試験(PCB廃棄物処理)

施工者から一言

7月は、PCB廃棄物処理を安全に確実に実施出来るかを検証することを目的として処理施設全体の予備性能試験を実施しました。また、外構工事を実施し一部の工事を残してほぼ完了致しました。

8月は、予備性能試験結果を踏まえ引渡性能試験を行い、9月の操業開始に向けて準備して参ります。

昨年の工事着工以来、延べ10万人を超える工事関係者を動員し工事を進めてきましたが、全ての工事関係者の協力で現在まで無災害を継続しています。今後も工事竣工まで、安全で確実な施設の完成と、関係者の安全を第一に進めて参ります。

クボタ神鋼環境(豊田)異工種建設工事共同企業体

代表者 : 株式会社クボタ

構成員 : 株式会社神鋼環境ソリューション

連絡先

日本環境安全事業株式会社(JESCO)

(連絡先) 豊田事業所

0565-25-3110